

2020年度事業計画書案

自 2020年 4月 1日
至 2021年 3月31日

一般社団法人 日本包装機械工業会

目 次

1. 基本方針	1
2. 定時総会、理事会の開催に関する事業	1
1) 2020年度定時総会の開催	1
2) 理事会の開催	1
3. 委員会の開催に関する事業	2
1) JAPAN PACK 2021 実行委員会	2
2) 包装学校企画運営委員会	3
3) 広報推進委員会	3
4) 技術委員会	4
5) ISO/TC313国内審議委員会	5
6) IOT研究会	5
4. 会員等諸会合の開催	5
1) 歳末特別講演会の開催	5
2) 新年賀詞交歓会の開催	5
3) 支部役員会・支部会の開催	5
5. 調査、各種情報収集・提供等に関する事業	6
1) 包装・荷造機械生産高・輸出入高の調査	6
2) 技術情報の収集・提供等	6
3) 各種情報の発信等	6
6. 人材育成、セミナー、講習会に関する事業	7
1) 包装学校	7
2) 青年部会	7
3) 各種セミナー・講習会	8
7. 国の施策に関する事業	8
1) 中小企業等経営強化法に係る証明書発行に関する事業	8
8. その他関連事業	8
1) 包装機械会館の運営に関する事業	8
2) 会員企業の販売促進、経営安定化に関する事業	8
3) 福利厚生に関する事業	9
4) 関連産業との連携	9

1. 基本方針

2019年度は、米中貿易摩擦の影響もあり、上半期は生産高ならびに輸出高が減少となった。経済産業省発表の生産動態統計（確報値）によると、直近の1～3月期は金額ベースで対前年同期比6.0%増と大きく改善が見られるものの、4～3月期で見ると3.4%減となった。また貿易統計（財務省）によると、輸出は速報ベースで対前年度比1.3%減の552億円と7年ぶりの減少となった。なお2019年度のわが国包装機械の生産高は10年ぶりに対前年を下回る見通しとなっている。

2020年度は、2019年12月に中国で発生が確認された新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、日本国内のみならず世界経済が急激に悪化しており、厳しい状況が続くものと思われる。

当会として、より一層の包装機械および関連業界の情報収集に努め、国の企業支援のための様々な施策を会員企業に対し、情報提供を行い、引き続き当会の事業の活動を活発に行い、業界発展に努めてまいります。会員各位の一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

2. 定時総会、理事会の開催に関する事業

定款に基づく定時総会・理事会の開催、当会内規に基づく支部役員会・支部会の開催をはじめ各事業委員会等を開催し、本年度事業の円滑かつ適切な推進に努める。

1) 2020年度定時総会の開催

定款の規程に基づき、2020年度定時総会を開催し、2019年度事業報告の審議・承認ならびに理事・監事の役員候補者の承認（本年度は改選期）、2020年度事業計画案・収支予算案の報告を行う。

月 日：2020年 6月17日（水）

会 場：鉄鋼会館 812号室（東京都中央区）

2) 理事会の開催

定款の規程に基づき、2020年6月（2回）、9月、12月、2021年3月の計5回理事会を開催し、2020年度の役員体制、事業の進捗状況、役員の業務執行状況等の確認・審議・承認を行い、事業の円滑な推進に努める。

第348回理事会

月 日：2019年 6月17日（水）

会 場：鉄鋼会館（東京都中央区）

第349回理事会

月 日：2020年 6月17日（水）

会 場：鉄鋼会館（東京都中央区）

第350回理事会

月 日：2020年 9月24日（木）

会 場：包装機械会館 会議室（東京都中央区）

第351回理事会

月 日：2020年12月 2日（水）

会 場：（名古屋）

第352回理事会

時 期：2021年 3月

会 場：包装機械会館 会議室（東京都中央区）

3 . 委員会の開催に関する事業

JAPAN PACK 2021 実行委員会、包装学校企画運営委員会、広報推進委員会、技術委員会、青年部会等の委員会を逐次開催し、本年度事業の円滑な推進に努める。

1) JAPAN PACK 2021 実行委員会

JAPAN PACK 2021 実行委員会（委員長：山本 治男 氏 株式会社東京自働機械製作所 社長）は、国内外の包装機械、包装資材、包装材料加工機械、食品加工機械、医薬・化粧品製造機械、物流機器および関連機器の新製品を展示公開し、産業の合理化と国民生活の向上に寄与するとともに貿易の振興を図り、業界の発展に資することを目的として来年（2021年）10月に「JAPAN PACK 2021」（日本包装産業展）を開催するため、下記のとおり、各種準備に係る委員会活動を推進する。

JAPAN PACK 2021 は、2021年10月5日（火）～8日（金）までの4日間、東京ビッグサイト（東京都江東区）に会場を戻して開催を計画（予定）。最新の包装機械関連技術を中心に製造工程に係る幅広い製品・技術を一堂に披露し、食品、医薬品、化粧品、日用品、工業製品をはじめ多様な商品の製造業界および流通・小売業界へ向けて喫緊の課題である人手不足解消、製造・物流コスト低減、省エネ・省資源化、消費期限延長、安全安心・衛生性向上、さらにはウィズコロナ、アフターコロナに伴うニューノーマル対応等の解決策を「包程式」として提案することにより商品力向上や販売力促進等の価値を提供し、ひいては会員および関係企業各位へのビジネス拡大の機会創出を目指す。また、講演会や専門セミナー等の特別企画の併催により、サプライチェーンをつなぐ包装の重要性や取り組みも発信する。

第4回正副実行委員長会議

月 日：2020年6月30日（火）
会 場：包装機械会館（東京都中央区）

第5回正副実行委員長会議

月 日：2020年7月28日（火）
会 場：包装機械会館（東京都中央区）

第2回実行委員会

月 日：2020年7月28日（火）
会 場：包装機械会館（東京都中央区）

第6回正副実行委員長会議

月 日：2020年9月23日（水）
会 場：包装機械会館（東京都中央区）

第3回実行委員会

月 日：2020年9月23日（水）
会 場：包装機械会館（東京都中央区）

第7回正副実行委員長会議

月 日：2020年12月2日（水）
会 場：未定

2) 包装学校企画運営委員会

包装学校企画運営委員会（委員長：一岡 幹朗氏 大森機械工業株式会社 上級執行役員）は、包装機械メーカーの技術者、セールスエンジニアならびにユーザー企業の包装担当者を対象に、本年7月から開講の第47期包装学校の運営ならびに来期包装学校の開講準備にあたり、活動を計画・推進する。

第103回包装学校企画運営委員会

月 日：2020年 6月 2日（水）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）

第47期開講式・オリエンテーション

月 日：2020年 7月 1日（水）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）

月 日：2020年 7月 8日（水）

会 場：大阪商工会議所（大阪府中央区）

第104回包装学校企画運営委員会

時 期：2020年11月

会 場：包装機械会館（東京都中央区）

第105回包装学校企画運営委員会

時 期：2021年 1月

会 場：包装機械会館（東京都中央区）

第47期ディスカッション・修了式

月 日：2021年 3月11日（木）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）

月 日：2021年 3月18日（木）

会 場：大阪商工会議所（大阪府中央区）

3) 広報推進委員会

広報推進委員会（委員長：下島 敏章氏 ストラパック株式会社 社長）は、関連業界等と連携強化を図りながら以下の委員会活動を推進し、国内外に向けてジャパンブランドを広くアピールすることにより、当工業会ならびに会員企業ひいては関連業界各位の価値向上に寄与する。

第77次 interpack 2020視察団【新型コロナウイルス感染症の影響に伴い会期延期（2021年2月再計画予定）】

< interpack 2020 視察ツアー >

月 日：2020年5月10日（日）～15日（金）6日間

概 要：3年に一度開催される世界最大の包装関連展『interpack 2020』の視察を目的として、上記月日の日程でドイツ・デュッセルドルフ市等へ視察団を派遣する。現地滞在中には現地滞在中にはスーパーマーケット等市場視察も実施予定

< interpack 2020 視察・欧州製薬企業視察ツアー >

月 日：2020年5月10日（日）～17日（日）8日間

概 要：世界最大の包装関連展『interpack 2020』および欧州最新製薬企業の視察を目的として、上記月日の日程でドイツ・デュッセルドルフ市等へ視察団を派遣する。

第14回広報推進委員会

月 日：2020年7月17日（金）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）

技術セミナー

時 期：2020年9月予定

会 場：包装機械会館（東京都中央区）

< 講演 1 >

テーマ：Connected Industries の新展開（仮題）

講 師：経済産業省製造産業局担当者（予定）

< 講演 2 >

テーマ：食品業界における AI 活用によるイノベーション - All for one,
One for all

講 師：荻野 武 氏 キューピー株式会社 生産本部未来技術担当部長

「包装ゾーン」（仮称）共同出展・「JAPAN PACK セミナー」（仮称）（予定）

時 期：2020年10月

会 場：冷食 JAPAN2020

ProPak Asia 2020 日本パビリオン

月 日：2020年10月20日（火）～23日（金）4日間

会 場：BITEC（タイ・バンコク）

出展者：株式会社旭金属、株式会社エー・アンド・デイ、

大森機械工業株式会社、サイエナジー株式会社、

澁谷工業株式会社、城南自動機株式会社/株式会社横浜自働機、

株式会社東京自働機械製作所、トキワ工業株式会社、

株式会社トパック、ニッカ電測株式会社、

株式会社ニッサンキコー、ニットーパック株式会社

日本ポリスター株式会社、株式会社古川製作所、

三浦工業株式会社、株式会社三橋製作所、大和製衡株式会社、

レオン自動機株式会社、一般社団法人日本包装機械工業会

（以上、20社・団体、390㎡/約43小間）

第78次 PACK EXPO International 2020 視察団（予定）

月 日：2020年11月7日（土）～12日（木）6日間

概 要：隔年で開催される世界最大級の包装関連展『PACK EXPO

International 2020』の視察を目的として、上記月日の日程でアメリカ・シカゴ市へ視察団を派遣する。現地滞在中にはスーパーマーケット等市場視察および JETRO シカゴによるブリーフィングも実施予定

4) 技術委員会

(1) 産学・産産連携

2019年度委員会に続き、業界共通の技術課題を討議し、研究テーマを決めるとともに、課題として挙げられた、包材系テーマと自動化系テーマの具体的な施策として、継続的に包材メーカーと会員が意見交換する場や技術セミナー、工場見学、等を企画、実行する。

(2) 講演会、セミナー、工場見学の企画及び開催

デジタル技術や環境問題をテーマに、講演会・セミナー、工場見学会を企画し、実施する。

(3) 各種法令の対応

計量法改正、等に対する説明会の開催や対策を討議する。

(4) 警告マークの頒布

機械のオペレーターや保守担当者に危険個所を適切に表示・告知する「警告マーク」和文のみを広く包装機械・関連機器メーカーへの頒布を継続する。

5) ISO/TC313 国内審議委員会

包装機械におけるEN415規格のISO化(ISO/TC313)に伴って、ISO国際会議への参加を含み、平成29年度に発足した「ISO国内審議委員会」の運営を継続・充実させる。新ISO規格を基にしたJIS規格の着手を計画する。

ISO国内審議委員会は、4回/年を予定
会 場：包装機械会館（東京都中央区）

ISO/TC313国際会議

月 日：2020年10月20日（火）～22日（木）

会 場：イタリア/ミラノ

尚、新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年5月5日～7日（ドイツ/フランクフルト）で予定されていた国際会議は中止となった。

6) IOT研究会

当業界共通の課題に対してIOTを切り口として、一つでも解決に導き、包装産業界に求められるIOTの活用を目指す。会員企業の中堅・若手メンバーを中心に、東京都立産業技術研究センターとの協力関係を維持しながら、今年度は、デジタル技術情報の収集やP&M通信やホームページを活用して会員企業へデジタル技術を発信してゆく。

研究会開催は3回/年を予定。

会 場：包装機械会館（東京都中央区）

4. 会員等諸会合の開催

定款に基づき歳末特別講演会、新年賀詞交歓会、支部会を開催し、本年度事業の円滑かつ適切な推進に努める。

1) 歳末特別講演会の開催

2020年12月2日（水）に歳末特別講演会を開催し、会員間の情報交換を推進する。

月 日：2020年12月 2日（水）

会 場：（名古屋市内を予定）

2) 新年賀詞交歓会の開催

2021年1月13日（水）に関係官公庁、当会会員、金融、関係団体の方々をお招きして、株式会社日本包装リース合同主催の2021年新年賀詞交歓会を開催する。

月 日：2021年 1月13日（水）

会 場：パレスホテル東京 4階「山吹」

3) 支部役員会・支部会の開催

2020年度事業報告ならびに2021年度事業計画の報告ならびに会員企業からの意見・要望の聴取を目的として関東支部会、中部支部会、関西支部会を開催する

第42回関東支部会

時 期：2021年 3月

第43回中部支部会

時 期：2021年 3月

第60回関西支部会

時 期：2021年 3月

5. 調査、各種情報収集・提供等に関する事業

国内外の包装機械・関連機器に関する技術情報や関連規格等の情報を調査・収集し、広く一般に公開してわが国包装機械産業・関連機器産業の技術高度化ならびに需要業界の包装合理化に資することを目的として、本年度は次の事業を推進する

1) 包装・荷造機械生産高・輸出入高の調査

わが国の包装機械メーカーを調査対象として、2019年度の生産高と輸出入高ならびに2020年度の生産計画の調査を実施する。

調査結果については「包装機械及び荷造機械生産高・輸出入高統計資料」としてまとめ、会員企業をはじめ広く一般に頒布・公開する。

2) 技術情報の収集・提供等

(1) 技術センター事業

技術委員会で工業会における技術事業のあり方を検討し、技術センターの事業方針を決定する。そして技術委員会で決定した事業に取り組む。

また、従来検査センターの事業として行ってきた、包装機械および関連機器の安全性・衛生性高度化の周知・啓蒙を推進し、労働災害事故の発生を抑えることによってユーザー業界からの信頼性を高め、包装機械産業の発展に貢献することを継続する。

(2) 包装技術相談と引き合いの斡旋

国内外のユーザーからの包装機械・関連機器等に関する各種技術相談を受け付け、製品引き合いに対する会員企業等への斡旋事業を推進すると共に会員企業からの技術開発の向上に関する相談の推進と関係資料の配布に努める。

(3) 機械安全・衛生指導事業

CEマーキング、リスクアセスメント、「包装・荷造機械の安全基準 - 2013」等、安全/衛生の技術相談に対応する。

包装機械が、「包装・荷造機械の安全基準 - 2013」・「包装・荷造機械の衛生基準 - 2018」に適合しているかの相談業務を行う。

(4) 「包装・荷造機械の衛生基準 - 2018」の普及、啓蒙、指導

2017年度に当会の自主基準である「包装・荷造機械の衛生基準 - 2018」を制定し、会員企業を中心にユーザー業界等に配布したが、本年度は昨年度に引き続き、本基準がわが国の包装機械製作の際の基準であることの普及、啓蒙ならびに指導に努める。

(5) 各種資料・情報の収集・公開

国内外の包装機械関連の技術情報、規格および統計資料等の収集を行い、会員企業をはじめ広く一般に公開する。

3) 各種情報の発信等

(1) 機関媒体の発行に関する事業

WEB媒体「パッケージ&マシン通信」(A4サイズ・購読料無料)を毎月2回メール配信し、わが国の包装機械、関連機器、包装資材等の新製品・新技

術情報や当会事業活動、国の施策や機械統計（経済産業省）、貿易統計（財務省）等情報の包装機械業界およびユーザー業界へ周知・広報により、包装業界と需要業界を結ぶ橋渡し役を担う。

6. 人材育成、セミナー、講習会に関する事業

1) 包装学校

わが国包装機械メーカーの技術者、セールスエンジニアならびにユーザー企業の包装担当者を対象として、昭和49年度から包装学校を開講しているが、昨年度の第46期までの修了者は4,878名を数え、包装機械業界はもとよりユーザー業界からも包装機械に関する唯一の人材育成機関として極めて高い評価を得ている。

本年度は2020年7月から平成2021年3月までの10カ月間、第47期包装学校を開講して、包装機械業界ならびにユーザー業界包装担当者の人材育成・高度化に努める。

尚、本年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、オリエンテーションは宿泊を中止し、東京会場、大阪会場各々で開催する。また、座学講座はオンデマンドでおこなう。

各課程の受講料（税別）は次の通りである。

NO	課程名	会 員	非会員
1	包装機械設計技術専門課程	¥340,000	¥390,000
2	パッケージングエンジニア専門課程	¥320,000	¥370,000
3	マイクロコンピュータ制御技術専門課程	¥110,000	¥160,000

注意) マイコン制御技術専門課程は、PLCメカトロ制御講座の1講座のみ開催

2) 青年部会

青年部会（部会長：青木 康哲 氏 日本工業刃物株式会社 社長）は、次代の経営幹部の育成ならびに会員相互の親睦を図るため、当会工業会の定款に定める目的に従い以下の部会活動を推進する。

2020年度定時総会【新型コロナウイルス感染症の影響に伴い書面決議にて実施】

月 日：2020年5月22日（金）

夏季セミナー

月 日：2020年8月19日（水）～20日（木）

会 場：（未定）

新年情報交換会

月 日：2021年1月12日（火）

会 場：（未定）

第70回幹事会

時 期：2021年2月（予定）

会 場：包装機械会館（東京都中央区、予定）

第2回JBCM・JPMA 青年部会交流会

時 期：（未定）

会 場：（未定）

青年部会創立40周年記念事業の検討

上記の他、国内工場見学会、講演会等適宜計画予定
会員名簿PDF版の運用

3) 各種セミナー・講習会

(1) 厚労省通達「設計技術者に対する機械安全教育」講習会開催

日本包装機械工業会は職業能力開発総合大学校、(一社)安全技術普及会、職業能力開発総合大学校と共催で講習会を継続開催する。

開催場所・・・職業能力開発総合大学校(小平市)

機械の安全化と国際安全規格(2日)

2020年12月10日、11日

機械安全におけるリスク低減(2日)

2021年1月14日、15日

リスクアセスメントの実践と妥当性確認(2日)

2021年2月8日、9日

電気と制御システムの安全設計編(2日)

2021年3月4日、5日

上記～修了者に「修了証明書」を発行するとともに、教育修了者名簿を作成する。

(2) IEC 60204-1/JIS B 9960-1対応

「実習で学ぶ制御盤の安全検証試験」講習会開催

高度ポリテクセンターと共催で講習会を開催する。

関東会場 高度ポリテクセンター(定員:15名)

2020年11月19日、20日

関西会場 ポリテクセンター関西(定員:15名)

2021年2月17日、18日

7. 国の施策に関する事業

1) 中小企業等経営強化法に係る証明書発行に関する事業

2017年7月にスタートした「中小企業等経営強化法」の証明書発行団体として、2017年8月から証明書の発行を開始し、ユーザー業界への設備投資促進に努め、累計6,243通の証明書を発行した。

本年度も引き続き証明書の発行を行い、わが国包装機械・関連機器の販売促進に努める。

8. その他関連事業

1) 包装機械会館の運営に関する事業

株式会社日本包装リースならびに株式会社包装システムと協調し、6階部分の賃貸、2階会議室の貸し出しを促進すると共に包装機械会館の運営・保守保全に努める。

2) 会員企業の販売促進、経営安定化に関する事業

株式会社日本包装リースとの協調によるリース販売の促進、事業承継サポートプログラムの利用促進、ならびに出資業務・アドバイザリー業務などの会員向けサービスの利用促進に努める。また株式会社包装システムと協調し、PL保険・包装機械総合保険への団体加入の促進に努める。

3) 福利厚生に関する事業

全国印刷製本包装機械企業年金基金および印刷製本包装機械健康保険組合の事業に積極的に協力し、加入者の福利厚生事業の充実に努める。

4) 関連産業との連携

(一社)日本食品包装協会、(一社)日本粉体工業技術協会をはじめ、包装関連産業、食品関連産業、製パン・製菓産業、印刷機械産業、電気・電子機器産業などの産業連携や、包括連携協定を締結している東京工科大学工学部との連携、ならびに CLOMA 等の官民連携も推進し、包装機械業界の発展に努める。